

大山崎町文化財保存活用地域計画素案に関するパブリックコメント一覧

令和8年6月4日

No.	項目	意見	町の考え方
1	<p>第6章 文化財の保存・活用に関する現状・課題と方針</p> <p>第7章 文化財の保存・活用に関する事業</p>	<p>大山崎町の歴史の教科書としてよくまとまっている。</p> <p>史跡大山崎瓦窯跡公園の活用について、同公園の窯跡のうち1基は遺構のまま残しており、実際に瓦を焼くこともできるように残した旨の話を聞いた。実際に活用することが可能なか？もし可能なら、大山崎町では陶芸作家や陶芸サークルが活動されているので、ぜひ文化財保存活用地域計画に加えてもらいたい。</p>	<p>史跡大山崎瓦窯跡公園の6号窯跡は、発掘調査後の遺構のレプリカ復元を行ったもので、将来体験学習で窯跡復元などを行うため整備しました。ただし、これまでに瓦積み体験などを企画しましたが、多額の経費を要することやコロナ禍のため実現に至っていません。</p> <p>文化財保存活用地域計画素案には、「文化財に触れる機会の充実」事業を盛り込んでいますので、同事業の中で、陶芸に携わっておられる方々のご協力も得ながら、史跡大山崎瓦窯跡公園のいっそうの活用に取り組んでまいります。</p>
2	<p>第5章 文化財の保存・活用に関する将来像</p> <p>第6章 文化財の保存・活用に関する現状・課題と方針</p>	<p>①文化財を保護するための財源確保に向けて、必要な施策を計画に記述してはどうか。具体的には、63頁の「指定等文化財を確実に保存・継承していくため、財源確保を図り」の記述について、今後の人口減少等による財源不足を見据えた中長期的な財源確保を課題として明記してはどうか。また、64頁の「クラウドファンディング型ふるさと納税の導入」等に限らず、広く町内外から寄付を集め、文化財の保存・管理・施設整備に活用できるファンド等の創設について記載してはどうか。</p> <p>②文化財の保存・活用の担い手として町外在住の大山崎ファンも記載する必要がある。具体的には、69頁の課題に、町内在住の担い手の減少が見込まれる中、町外在住の「大山崎ファン」を担い手として育成する必要性について記載してはどうか。また、70頁の方針にも「大山崎ファン」による支援の輪を広げることを追記してはどうか。</p>	<p>①文化財の保存・活用に必要な中長期的な財源確保は大きな課題と捉えています。文化財保存活用地域計画素案に掲げた「クラウドファンディング型ふるさと納税の導入」は、本町の歴史文化を愛好して下さる町内外の方から広く寄付を募る仕組みであり、本町では初めての試みとして計画しています。今後、同事業を皮切りに多様な財源確保に取り組み、文化財の保存・管理・施設整備等に活用してまいります。</p> <p>②町外在住で本町の歴史文化を愛好して下さる方も重要な担い手であると認識しております。大山崎ふるさとガイドの会では、実際に町外在住の方が多く活動されており、文化財保存活用地域計画素案でもボランティアガイド養成に取り組む事業を計画しております。今後、「大山崎ファン」と各種事業を多様な形でつなぐことができるよう、次期計画に向けて取り組んでまいります。</p>

3	<p>第5章 文化財の保存・活用に 関する将来像</p> <p>第6章 文化財の保存・活用に 関する現状・課題と方 針</p>	<p>子どもたちは大山崎町で生まれ、その歴史・文化の中で育っているが、大山崎町の歴史について知らないようである。小学校等とよりいっそう連携し、子どもたちが大山崎町の歴史・文化を自慢に思うことができるよう、歴史・文化を知り、体験する機会を増やしてもらえたらありがたい。</p>	<p>本町の小学校教育では、3・4年生時に副読本『のびゆくわたしたちの乙訓』などを用いて歴史や文化を学ぶ時間を設けているほか、4年生の地域学習や6年生の歴史学習で歴史資料館等を見学する機会をつくっています。</p> <p>文化財保存活用地域計画素案では、そのいっそうの充実を図るため、「小中学生を対象とした歴史文化学習の推進」や「小中学校の歴史文化学習支援」等の事業を盛り込んでいますので、小中学校と連携して取り組んでまいります。</p>
---	---	---	---